

どう守る、登下校時の子どもたち

森 亘 議員 (自民)

教育長 3つの危険個所を改善予定



三小学区の通学路

質問 子どもたちが交通事故や犯罪に巻き込まれないようにと、現在、学校での安全指導をはじめ、PTA、地域、ボランティア等が懸命に取り組んでくれている。しかし、それでも解決が困難な場所がある。そこで、次の5点を伺う。

問① 通学路指定の根拠は。

教育長 40人程度の児童が通行する道路を、学校長が指定する。

問② 昨年から本年にかけて登下校時に発生した事故、犯罪件数は。

教育長 交通事故等は18年度4件、19年度4件。不審者等の出現は18年度2件、19年度3件。

問③ 保護者、児童・生徒から危険性等の指摘改善要望を受けた場所は。

教育長 学区別には、二小で2カ所、三小で6カ所、四小で3カ所、五小で1カ所。

問④ 要望を受け改善された場所は。

教育長 三小で1カ所、四小で1カ所、今後3カ所を改善予定。

問⑤ 改善困難な場所への対策は。

教育長 学校では危険な個所を特定し、繰り返し安全指導を行い、ドライバーには安全運転をお願いしていく。

こんな質問もありました
施設改修をリフトイン工法で。
町長 福祉会館改修で一部導入。



介護保険料の激変緩和の継続を

竹嶋 久雄 議員 (自民)

町長 前向きに対応したい

質問 介護保険料は、平成17年度の税制改正により、収入が変わらなくても保険料が上昇するケースが生じた。この税制改正の影響

を受けた高齢者については、平成18年度・19年度にかけて保険料が急激に上昇することのないよう、激変緩和措置が講じられている。

しかし、平成19年度までの措置であり、20年度も引き続き緩和措置を行う必要があると考えるが、町長の所見を伺う。

町長 現在国では、市町村独自の判断で激変緩和措置を継続できるような、政令改正を行う方針であるが、町独自で継続するには介護保険財政の観点から厳しいものがある。しかし、町としては、長年社会に貢献された高齢者の負担を軽減するため、現在の激変緩和措置の継続に前向きに対応したいと考えている。



フラワープラム (長岡地区) でのデイサービス

住居表示の意向調査と計画的な整備を

上野 勝 議員 (自民)

町長 市街地整備が

済んだ段階で実施



瑞穂町大字富士山栗原新田33番地1にある栗原町会館

質問 住居表示を整備した地域の住民はさまざまな生活、活動で利便性が向上したと喜んでいる。同じ町民でありながら住居表示の整備が進まず、不便を感じている住民がいるのは町政の大きな課題である。

町の住居表示に関する法律は、市町村の責務として不便な住居表示の速やかな整備を進めている。未整備地域住民に住居表示に関して意向調査を実施すると共に計画的な住居表示の整備を進めるべきと考えるが、町長の所信を伺う。

町長 町では、住居表示整備の必要性を認識している。しかし、住居表示は、市街地としての相当のまとまった面積と人口がある区域で実施するのが通例であり、また、多くの地権者や住民、企業等の関係者に変更手続きなど相当の負担が生じるため、関係者の強い要望と理解がなければ実施は難しい。

従って、町としては、計画的な市街地整備が済んだ段階で実施したいと考えており、現在の町の喫緊の課題とは位置づけていない。

教育環境の考え方について問う

近藤 浩 議員 (改革)

教育長 緑豊かな教育環境が望ましいが

質問 金と競争が支配的なこの時代。心豊かな子ども達を育てる教育が必要だと思ふ。

子どもや教育現場にそのための条件・環境を整えるのが行政や政治の仕事だと考え、次の点を伺う。

問① 校舎の壁面緑化や校庭芝生化など、緑豊かな環境を。

教育長 子どもたちが緑の多い環境下で学校生活を送ることは非常に有意義と思っている。しかし、費用などの課題もあり、今後も調査・研究したい。

問② 長岡地区整備統合事業による二中南側道路計画は、教育環境の悪化になるのではないか。

教育長 授業やクラブ活動への影響について学校に確認したところ、特に問題が無いとのことである。また、安全面については、道路が狭隘であることによる接触事故が報告されているが、道路幅が広がり歩車道の分離により子どもたちの安全は確保されると考える。



二中南側道路